

楽しく英語に親しもう!



英語が苦手でも大丈夫! 表情やジェスチャーで楽しくコミュニケーション!



英単語のしりとりでは頭をフル回転



レクリエーションでグッと距離が縮まります

都市部に住む人たちに農山村での暮らしを学んでもらい、自分らしい豊かな生き方を見つけてもらおうと企画された「真庭なりわい塾」の第2期講座が、中和地域で始まりました。初日の5月27日には、2期生25人が参加。塾生たちは入塾式の後、地域の人から今と昔の農作業の違いや人々の結びつきについて熱心に尋ね、地域の人が何を大切にしてきたのか、地域がどうやって成り立っているのかを探っていました。



地元の人の案内で中和地域をめぐる参加者

市政トピックス TOPICS

6月17日、ハイランド落合（下市瀬）で、「English Land in 真庭市」が開かれ、市内の中高生14人が参加しました。この催しは、英語のみで話をする機会が少ない中高生に、英語で会話をする力と自信をつけてもらおうと、真庭市の国際交流員ローラ・ジエーン・ピンチャーさんが企画。生徒たちは、ローラさんや県内の国際交流員ら5人の外国人スタッフと英語のみで過ごしました。初めは緊張した様子の生徒たちでしたが、ジエスチャーや知っている単語などを使ってゲームやミニ運動会をしながら、英語でのコミュニケーションを楽しんでいました。



蒜山の爽やかな風を全身に感じながら快走

5月20日、蒜山高原自転車道（県道八束川上自転車道線）で、サドルとペダルが複数人分ある「タンデム自転車」の通行解禁（2人乗りに限る）を記念したイベントが開かれました。市内外の視覚や聴覚などに障がいを持つ人たち21人が参加し、ハンドル操作が不要な後部座席に乗車して爽やかに風を切って走るサイクリングを楽しみました。今回の通行解禁は、今年の4月1日の岡山県道路交通法細則の改正によるものです。

タンデム自転車解禁!
タンデムファーリングinひるぜん



市政に関する動きの一部を紹介します

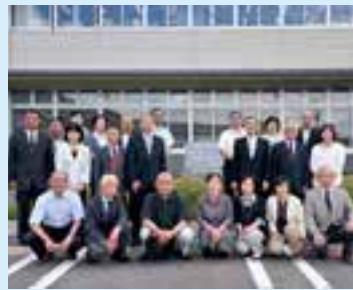
6/7 自衛官志願者に関する情報提供を

自衛官募集の広報や志願者への情報提供などをする自衛官募集相談員の委嘱式が行われ、真庭市と自衛隊岡山地方協力本部が、新任2人を含む市民5人に相談員を委嘱しました。任期は、平成29年5月1日から2年間です。



6/13 更なる地域福祉の発展を

真庭市民生委員児童委員協議会は、民生委員制度創設100周年の記念碑を設置し、除幕式を行いました。これまで培ってきた地域のネットワークをもとに、今後も地域の児童や高齢者などの見守り活動に取り組んでいきます。



**草加部小学校で出前講座
資源循環つてすごい**

美味しい野菜が収穫できますように

6月3日、草加部小学校の4年生が真庭市の資源循環の取り組みについて学びました。はじめに市環境課の職員が市内の燃えるごみの約半分を生ごみが占めることや、久世地区で回収した生ごみやし尿から液肥を作り、有効活用する事業を進めていることなどを説明。その後、児童たちは校内の畑に移動して野菜苗への散布を体験しました。はじめは液肥の臭いに少し驚いていましたがすぐに慣れて、野菜の根元に丁寧に撒いていました。



真庭市教育委員会委員に就任した常本直史さん

元真庭高校校長の常本直史さんが6月8日に任命辞令交付式が行われました。常本さんは高校教師として市内外の学校に赴任し、岡山県総合教育センターの生徒指導部長や真庭高校校長などを歴任。真庭高校在任中は、生徒たちの第二次真庭市総合計画策定会議への参加や地域活性化の取り組みを通して、学校と地域とのつながりできました。任期は、平成33年6月7日までの4年間です。

**教育委員会委員 任命辞令交付式
真庭の教育のために**



**市長室から
こんにちは!**

韓国新首相は真庭の訪問者!

大韓民国で、文在寅大統領の政権が発足し、首相には前全羅南道知事の李洛淵氏が就任しましたが、実は、その李首相は全羅南道知事時代の平成27年10月11日に真庭市を訪問されています。市役所での懇談後、エネルギー棟（冷暖房施設）をご覧になり、バイオマス発電所、集積基地を視察されました。

李首相は、韓国の有力紙である東亜日報の東京特派員として長きに渡る日本勤務の経験があること、韓日親善（国会）議員連盟の会長を歴任していることなど、日本の実情をよく御存じの方、知日家であります。

ご存知の通り、北朝鮮問題に加えて、日韓にも歴史的懸案を含め解決すべき課題がありますが、有史以来繋がっている隣国同士が未来に向かって永続的な友好関係が築かれることを願わざにはいられません。韓国国内で評価の高い檜材やCLT材が受け入れられ、人・物の交流が進むこともその一助になるのではないかと思っています。そのために全羅南道副知事（知事代理）に親書を出しましたが、今後ともできることを実行してまいります。